

## 再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：鈴木 克宗

<b>事業名</b> ：一般国道354号 土浦バイパス	<b>事業区分</b> ：一般国道	<b>事業主体</b> ：茨城県										
<b>起終点</b> ：自：茨城県土浦市木田余 至：茨城県土浦市手野町		<b>延長</b> ：4.0 km										
<b>事業概要</b> ：一般国道354号は、群馬県高崎市を起点とし茨城県鉾田市に至る延長約218kmの幹線道路である。土浦バイパスは、土浦市内の交通混雑緩和による円滑な交通の確保を目的とした延長4.0kmの4車線道路である。												
H3年度事業化	H2年度都市計画決定 (H年度変更)	H5年度用地着手										
全体事業費：55億円		事業進捗率：56%										
計画交通量：17,100台/日		供用済延長：- km										
<b>費用対効果分析結果</b>	<b>総費用</b> ：(残事業)/(事業全体) 25 / 59 億円 事業費：21/56 億円 維持管理費：3/3 億円	<b>総便益</b> ：(残事業)/(事業全体) 111/111 億円 走行時間短縮便益：104/104 億円 走行費用減少便益：7/7 億円 交通事故減少便益：0/0 億円										
B/C (事業全体)：1.9 (残事業)：4.5		<b>基準年</b> ：平成17年										
<b>事業の効果等</b> ・円滑なモビリティの確保（既存路線バスの利便性が向上） ・災害への備え（対象区間が「茨城県地域防災計画」において第一次緊急輸送道路に指定） 他 6項目に該当（定量的評価項目を含む）												
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 本路線は、地域間交流の促進等に重要な役割を担っており、土浦市をはじめとする関係8市1町1村の首長で構成される国道354号整備促進協議会から早期完成の強い要請を受けている。												
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 平成17年11月1日に霞ヶ浦大橋有料道路が無料開放されたことにより、鹿行地域と県南、県西地域を結ぶ広域幹線道路としての役割が高まっている。												
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 境界未定等用地難航箇所が散在し工事の着手が遅れていたが、平成16年度に境界が確定された。												
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 境界が確定した区間について買収を開始しており、早期完成を目指し工事の進捗を図る。												
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 再生材の利用及び現場発生土の有効利用等コスト縮減を図っている。												
<b>対応方針</b>	事業継続											
<b>対応方針決定の理由</b>	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。											
<b>事業概要図</b>												
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2">凡 例</th> </tr> <tr> <td>———</td> <td>供 用 中</td> </tr> <tr> <td>■■■■■</td> <td>事 業 中</td> </tr> <tr> <td>▨▨▨▨▨</td> <td>再 評 価 箇 所</td> </tr> <tr> <td>▨▨▨▨▨</td> <td>う ち 供 用 中</td> </tr> </table>		凡 例		———	供 用 中	■■■■■	事 業 中	▨▨▨▨▨	再 評 価 箇 所	▨▨▨▨▨	う ち 供 用 中
凡 例												
———	供 用 中											
■■■■■	事 業 中											
▨▨▨▨▨	再 評 価 箇 所											
▨▨▨▨▨	う ち 供 用 中											

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。